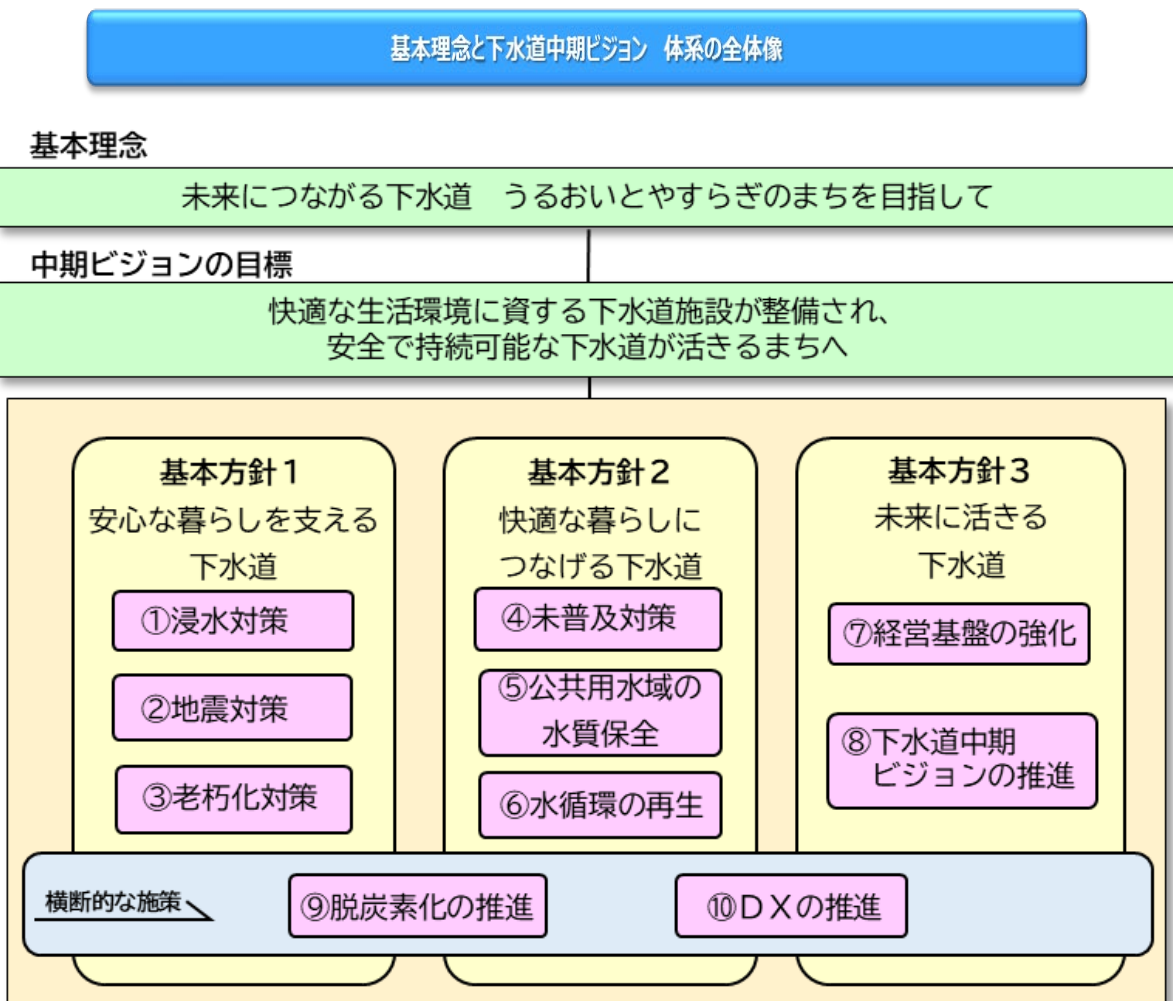


第4章 下水道中期ビジョンの体系

4-1 体系の全体像

市川市下水道中期ビジョンは、長期的な視点から本市の理想的な下水道の姿に向けた基本理念を定めています。この基本理念を目指した市川市下水道中期ビジョンの目標は、計画期間の10年間で目指す下水道の姿であり、この目標を具現化するための取組みとして3つの基本方針と、10の施策を設定しました。

施策の「①浸水対策」から「⑧下水道中期ビジョンの推進」は第1次市川市下水道中期ビジョンから継続する必要があることから踏襲することとしました。また、第2次市川市下水道中期ビジョンでは、取り入れるべき新たな視点として、地球環境の視点より「⑨脱炭素化の推進」と、人口の視点・財政の視点より「⑩DXの推進」の2つの施策を設定しました。この2つの施策は、他の施策とは異なり、3つの基本方針と8つの施策を横断的に網羅する施策であるため、第2次市川市下水道中期ビジョンの体系を下図のように整理しました。





4-2 計画期間

第2次市川市下水道中期ビジョンの計画期間は、令和8年度から令和17年度までの10年間とします。

4-3 第2次市川市下水道中期ビジョンの基本理念

未来につながる下水道 うるおいとやすらぎのまちを目指して

本市は、昭和30年代後半の高度経済成長期とともに住宅都市として発展してきましたが、時代の転機を越えて都市の成熟期を迎えています。生活を支える都市基盤は、このような社会情勢を見据えつつ、未来につなぐための確実なマネジメントを進めていく必要があります。

そこで、本市下水道が、いつまでも安心して快適な私たちの暮らしを支える重要な静脈であり続けるため、持続可能な経営を進めていきます。そして、市川という名のとおり江戸川をはじめとする多くの水辺に恵まれた本市の魅力を高めるため、生命の源である水環境が良好に保たれ水への親しみを通じた「うるおいとやすらぎ」のあるまちを目指します。

なお、この基本理念については、下水道事業を進める上での根本的な考え方であり、多くの事業が継続して推進していくべき不変的なものであることを考慮し、第1次市川市下水道中期ビジョンを踏襲しています。

4-4 第2次市川市下水道中期ビジョンの目標

快適な生活環境に資する下水道施設が整備され

安全で持続可能な下水道が活きるまちへ

第1次市川市下水道中期ビジョンの目標は、安心して快適な下水道事業を進めるうえで、最も重要となる「経営基盤」を築くため、下水道事業会計に移行することを念頭として「安心して快適な下水道の礎を築く」を目標としていました。

しかし、既に下水道事業会計に移行している現在は、次のステップとして、現在の下水道を取り巻く状況の変化や、安心・安全な視点、財政的な視点を考慮し、「快適な生活環境に資する下水道施設が整備され、安全で持続可能な下水道が活きるまちへ」と見直しました。



4-5 基本方針と施策

第2次市川市下水道中期ビジョンの施策の体系

